



伊手地区 地域計画 課題と将来の方向性 ダイジェスト版

【伊手地区の農用地等面積】 675.5 ha

うち 【田】 346.3 ha 【畑】 321.6 ha

(農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 530.4 ha)

- ・ 今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計 76.1ha
- ・ 伊手地区における 75 才以上の農業者の農地面積 合計 204.9 ha
- ・ 主な生産品目：水稲、りんご、肉用牛（繁殖）

(令和7年8月 26 日現在)

地域農業の課題

1. 地理的特徴

- └ 中山間地域で、小区画圃場・狭い道路が多い

2. 農地利用の困難さ

- └ 水稲以外の土地利用型作物の効率的作付けが困難

3. 担い手不足

- └ 集落営農組織の解散が相次ぐ
- └ 担い手不足により耕作放棄地が増加

4. 畜産

- └ 繁殖和牛農家が減少、草地利用も縮小

5. 野生鳥獣被害の増加

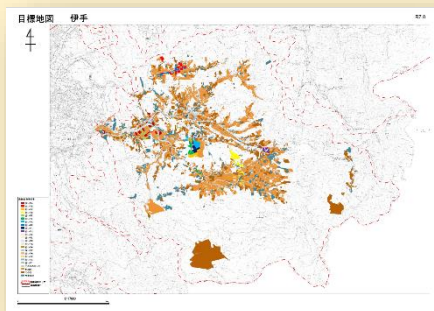
- └ クマ・シカ・イノシシによる農業被害が急増

6. 産地転換

- └ 水田跡地で果樹(りんご・もも等)の作付拡大

7. 75 才以上の高齢農業者の比率が高く、後継者不在も多い

伊手地区の目標地図



地域計画は、奥州市内 45 地区で策定をしました。

地域計画は、地域の実情に合わせた取り組みを進めるため、地域の話し合いで出し合った「課題」や「今後の方向性」を取りまとめたものです。また、農地一筆ごとに 10 年後の耕作者を取りまとめた「目標地図」も作成されています。

このダイジェスト版は、地域農業の「課題」や「今後の方向性」を抜粋して作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくものですので、年に1回程度、地域の皆さんで「課題はありますか?」、「困り事ありますか?」、「やってみたい農業はありますか?」など、話し合ってみてはいかがでしょうか。

地域農業の方向性

- 1. 「守るべき農地」の明確化と保全
 - スマート農業の導入(効率化・省力化)
 - 中間管理機構を活用した農地集約
- 2. 農地の集団化・集約化
 - 担い手等へ優先して集積、直接支払制度等の活用
- 3. 地域全体での農業・農地管理
- 4. 多様な農地活用
 - 「守るべき農地」以外は景観作物や有害鳥獣緩衝帯等
 - 果樹(りんご・もも・新規作物)導入拡大、耕作放棄地活用
- 5. 担い手育成・新規参入支援
 - 若者など新規就農者の環境整備
- 6. 有害鳥獣対策
 - 地域全体で侵入防止柵(電気柵等)、個体群管理
- 7. コメのブランド化・輸出促進
- 8. 農村の魅力向上による移住促進・人口安定

このダイジェスト版を「地域の話し合いで使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しすることもできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

※個人情報に該当する部分は掲載していません

■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページ ID を入力」の入力欄→「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで下記QRコードを読み込む



■問い合わせ…奥州市農政課人農地プラン推進室(TEL 0197-34-2371)

